

# JFA バーモントカップ 第28回全日本U-12フットサル選手権大会 沖縄県大会

## 【大会要項】

1. 趣 旨 気軽に楽しめるコミュニティースポーツ、フットサルの普及・発展に努めながら青少年の体力の向上と健全育成を高め、チームの交流・親子のふれあいを図ることを目的とする。
2. 主 催 (一社) 沖縄県サッカー協会
3. 主 管 (一社) 沖縄県サッカー協会ジュニア委員会、フットサル委員会
4. 後 援 沖縄県(予定)・(公財) 沖縄県体育協会(予定)  
・名護市教育委員会(予定)・国頭村教育委員会(予定)
5. 特 別 協 賛 ハウス食品グループ本社(株)
6. 大 会 期 日 地区大会：2018年6月4日(月) 18時までに各地区代表選出  
県大会：2018年6月16日(土)、17日(日)  
《予備日・6月23日(土)・24日(日)》
7. 大 会 会 場 2018年6月16日(土) あけみおSKYドーム(名護市) (3コート)  
くがみ屋内運動場(国頭村) (1コート)  
2018年6月17日(日) あけみおSKYドーム(名護市) (2コート)
8. 参 加 資 格 ① 大会実施年度に(公財) 日本サッカー協会(以下JFAとする)「第4種」または「女子」の種別で加盟登録したチームかJFA「フットサル4種」の種別で加盟登録を行ったチーム12才以下の選手であること。  
(但し小学校在学中の選手はこの年齢制限を適用しない。)  
前項のチームに所属する2006年4月2日以降に生まれた選手であること。  
② 第1項のチームに登録された選手であり、保護者の同意のある者に限る  
(同一選手の複数チームへの登録は認めない。)  
③ チームの責任において傷害保険に加入していること。  
④ 女子の登録(出場)を認める。  
⑤ 選手証(写真付)の携帯をすること。  
⑥ 第1項に定めるチームには、1チームあたり3名までの外国籍選手の登録を認める。ただし、当該外国籍選手は、出入国管理及び難民認定法に定める残留資格を取得しているものとする。なお、外国籍選手は、ピッチ上に2名を超えて同時にプレーすることはできない。また、学校教育法に基づく単一学校の選手によって構成されたチームについては、外国籍の選手とはみなさない。  
⑦ チーム役員に指導者として、フットサル指導者ライセンス(サッカー指導者ライセンスも認める)を保持している者がいること。(指導者の複数チームの登録は認めない。)
9. 競 技 規 則 ① 2018年度JFA制定の「フットサル競技規則」によるが、細則についてはジュニア委員会決定の内容による。  
② チーム編成は、役員4名・選手20名とする。  
③ エントリー表は、自チーム試合の30分前までに提出し、選手は15～10分前までにコート横の選手チェック場に集合し、選手チェックを受けること。  
選手チェック後は、同チェック場に待機し、前試合終了後にコートに入場すること。  
④ ピッチサイズは原則として32m×16mとする。(センターサークルは、

半径 2.5 m、ペナルティーエリア 1 / 4 円ラインの半径 5 m、ペナルティー  
マーク 5 m・第 2 ペナルティーマーク 8 m)

- ⑤ 試合球はフットサルボール（3 号球：600 hpa）を使用する。（軽量は除く）
- ⑥ 守備側競技者のボール等から離れる距離  
（フリーキック 4 m、コーナーキック 4 m、キックイン 4 m）
- ⑦ 予選リーグから、5 ファールカウントを行う。
- ⑧ 毎試合前、出場選手は電子媒体による選手登録証を本部へ提示し、選手確認を  
行う事。 ※但し大会運営がスムーズに行えるよう選手証は事前に印刷し、本部へ  
提示を基本とします。

## 10. 競技方法

- ① 各地区代表チームは、(島尻 19→8、那覇 22→10、浦添市 11→5、宜野湾市 9→4、  
沖縄市 14→6、北中頭 22→10、北部 12→5、八重山 (不参加)、宮古 (不参加))  
計 48 チームによる予選リーグの後、決勝トーナメントを行う。  
(数字は、大会参加チーム (母体) → 各地区枠)
- ② 予選リーグにおける順位は、総勝ち点・当該チーム間の対戦成績・得失点差  
・総得点の順で決定する。それでも順位が決まらない場合は抽選とする。  
勝ち点は、勝ち - 3 点 / 引き分け - 1 点 / 負け - 0 点
- ③ 予選リーグの試合時間は 10 分 - 5 分 - 10 分 (ランニングタイム) とする。  
決勝トーナメントにおいて試合時間に勝敗が決しない場合は P K 方式により  
次試合進出チームを決定する。 ※タイムアウトは、2 日目の決勝トーナメント  
ベスト 8 より行う。  
尚、準決勝・3 位決定戦は、16 分 (前後半各 8 分間) プレーイングタイムとし、  
ハーフタイムは、5 分間とする。同点の場合は、P K 方式にて決定する。  
決勝戦は、20 分間 (前後半各 10 分間) のプレーイングタイムとし、  
ハーフタイムは、5 分間とする。同点の場合は、6 分間の (前後半各 3 分間)  
延長戦を行いそれでも決しない場合は P K 方式により優勝チームを決める。

## 11. 表彰

優勝、準優勝及び 3 位チームを表彰し、優勝チームは全国大会 (8 月 18 日～20 日/  
東京都) へ沖縄県代表として出場を義務付ける。  
準優勝、3 位チームは九州ジュニアフットサル大会 (12 月 2 日～3 日/佐賀県) へ  
沖縄代表として出場を推薦する。  
6 月 30 日までに参加意思を明確にすること。辞退の場合、4 位チームを優先とし、  
ベスト 8 チームから選考するものとする。)

## 12. 参加料

10,000 円を指定日までに指定振込用紙にて振り込むこと。  
振込み期限：2018 年 6 月 6 日 (水)

## 13. 監督会議

日時：2018 年 6 月 6 日 (水) 20 時～  
場所：コザ信金スタジアム (会議室)

## 14. 抽選

組合せは、本部 (ジュニア委員会) 抽選により決定する。

## 15. 地区大会

地区大会は各地区単位で行い、各地区代表を下記日時までに FAX またはメール  
にて報告すること。

◆報告期限：2018 年 6 月 4 日 (月) 18 時迄

◆報告先：(一社) 沖縄県サッカー協会

FAX：098-996-4733

E-mail: fa-okinawa@jfa.or.jp

北部地区担当 津波 満

携帯電話：090-1946-9358

E-mail: mitsuru.tsuha@ezweb.ne.jp

※北部地区担当へは、E-mailに報告すること。

16. 審 判
- ① 審判は帯同審判制を採用し、各チーム審判員（主審、第2審判）1名、副審（第3審判、タイムキーパー）1名を割り当てられた試合に配置すること。
  - ② 帯同審判は、3級審判が望ましい。但し、4級審判で地区においてフットサル審判経験が豊富であれば認める。
  - ③ 帯同審判は、20分前本部集合、ミーティングを義務づける。
  - ④ 審判証（写真付）の携帯及びワッパンの着用を義務づける。
  - ⑤ 審判ミーティング前に、本部において受付及び審判証の確認を受けること。
17. ユニフォーム
- ① 本大会登録票に記載されたものを着用し、参加申込書提出以後の変更は原則として認めない。
  - ② 各チームは色彩が異なり判別のしやすい正・副2組のユニフォーム（ゴールキーパーもフィールドプレーヤーと異なる色彩の正・副2組）を携行すること。
  - ③ ユニフォームシャツの色彩は、審判が通常着用する黒色と明確に判別し得るものであること。
  - ④ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。
  - ⑤ ゴールキーパーについては、パワープレー（フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーをすること。）および、PK方式の場合に、大会に登録されていない色彩のユニホームを着用することができる。
18. ベ ン チ
- ① ベンチ（エリア）には、チーム（役員3名・交代要員15名）以外は入れない。
  - ② チーム関係者（保護者・応援等）はベンチ（エリア）外で大会本部の定められた場所、若しくは試合進行の妨げにならない場所で観戦すること。
  - ③ 各チームとも試合終了後は速やかにベンチ（エリア）を空けること。
19. 懲 罰 規 定
- ① 次の選手は、次の1試合への出場を停止とする。
    - ・同一試合で警告を2回受けた選手及び退場処分を受けた選手。
    - ・大会期間中の警告累積が3回になった選手。
  - ② レッドカードでの退場選手に関して、1試合出場停止。悪質な違反（行為）の場合には本大会の規律・フェアプレー委員会で裁定する。
  - ③ 決勝戦終了後、未消化の出場停止処分は全国大会に持ち越される。ただし、累積警告によるものを除く。
  - ④ 第2項以外の事項の場合も、本大会の規律・フェアプレー委員会にて裁定する。  
※大会規律・フェアプレー委員会：ジュニア委員長、ジュニア副委員長、ジュニア委員会審判部長、本大会運営責任者、会場運営主任。
20. マッチミーティング
- ① 2日目9：00より準々決勝対戦チームを対象に運営担当者、各チーム代表者によるミーティングを行う。（あけみおSKYドーム本部前）
  - ② 準決勝・3位決定戦では30分前、決勝戦では60分前に両チームの代表者、審判員とのマッチコーディネーションミーティングを行う。

21. そ の 他

- ① 屋内での競技になりますので、スパイクシューズの使用を禁止し、屋内シューズを使用すること。
- ② ドーム内での飲食は禁止されており、試合中の水分補給等はドーム外で行うこと。
- ③ 試合中のケガについては、応急処置のみ行う。
- ④ 使用する施設については、
  - (1) 保清に十分配慮すること。
  - (2) ゴミの自地域までの持ち帰り。
  - (3) 車両の駐車について施設側、周辺住民への配慮を十分に行なうこと。
  - (4) ピッチ以外または指定された場所（アップ場）以外ではボールを蹴らないこと。
  - (5) 仮に施設へ損害をもたらした場合には大会本部への報告を行ない、即日の復旧を行うこと。
- ⑥ その他、本大会に関する諸々の発生事案については、ジュニア委員会及び大会担当の北部地区事務局で協議し、決定するものとする。